



# 和歌山県報

発行 和 歌 山 県  
和歌山市小松原通一丁目1番地  
毎週火、金曜日発行

## 目 次 (\*については県例規集掲載事項)

ページ

### ○ 教育委員会規則

\*18 和歌山県修学奨励金貸与条例施行規則の一部を改正する規則

..... 1

## 教育委員会規則

### 和歌山県教育委員会規則第18号

和歌山県修学奨励金貸与条例施行規則の一部を改正する規則を次のように定める。

平成25年12月26日

和歌山県教育委員会委員長 山 本 哲

和歌山県修学奨励金貸与条例施行規則の一部を改正する規則

和歌山県修学奨励金貸与条例施行規則（平成14年和歌山県教育委員会規則第19号）の一部を次のように改正する。

第2条中第4項を第5項とし、同条第3項第2号中「第5条の3第2項」を「第5条の3第1項」に改め、同項を同条第4項とし、同条第2項の次に次の1項を加える。

3 条例第2条第2項第1号に規定する修業年限が2年以上の専門課程であって規則で定めるものは、専修学校の専門課程の修了者に対する専門士及び高度専門士の称号の付与に関する規程（平成6年文部省告示第84号）第2条に規定する専門士又は同規程第3条に規定する高度専門士と称することができる要件を満たす課程（通信制の学科を除く。以下「専修学校専門課程」という。）とする。

第5条の3第1項を削り、同条第2項中「（入学予定者）及び「に限る。）」を削り、「別記第1号様式の5」を「別記第1号様式の4」に改め、同項第3号中「大学等」を「条例第2条第2項第1号に規定する大学等（以下「大学等」という。）又は専修学校専門課程」に改め、同項を同条第1項とし、同条第3項中「（入学予定者）を削り、「に限る。）で」を「で」に、「別記第1号様式の5」を「別記第1号様式の4」に改め、同項第3号及び第6号中「大学等」の次に「又は専修学校専門課程」を加え、同項を同条第2項とし、同条第4項中「（入学予定者）を削り、「に限る。）で」を「で」に、「別記第1号様式の5」を「別記第1号様式の4」に改め、同項第4号中「大学等」の次に「又は専修学校専門課程」を加え、同項を同条第3項とする。

第5条の4中「前条第2項又は第4項」を「前条第1項又は第3項」に改める。

第6条第2項中「第5条の3第1項若しくは第3項」を「第5条の3第2項」に、「第5条の3第1項又は第3項」を「第5条の3第2項」に改め、同条第3項中「受けた者」の次に「（以下この項において「進学助成金貸与内定者」という。）」を加え、「申請者」を「進学助成金貸与内定者」に改め、同項第1号中「大学等」の次に「又は専修学校専門課程」を加える。

第7条中「第5条の3第2項第3号及び第4号、同条第3項第6号及び第7号並びに同条第4項第4号及び第5号」を「第5条の3第1項第3号及び第4号、同条第2項第6号及び第7号並びに同条第3項第4号及び第5号」に改める。

第11条中「大学等」の次に「又は専修学校専門課程」を加える。

第12条第3項に次のただし書を加える。

ただし、やむを得ない理由により口座振替によることができないときは、修学奨励納入通知書（別記第12号様式又は別記第12号様式の2）により払い込むものとする。

第13条第1項中「別記第12号様式」を「別記第13号様式」に改める。

第14条第1項中「別記第13号様式」を「別記第14号様式」に改める。

第15条第1項中「別記第14号様式」を「別記第15号様式」に改める。

別表中「大学等」の次に「又は専修学校専門課程」を加える。

別記第1号様式、別記第1号様式の2及び別記第1号様式の3中「(単位制)」を「通信制」に改める。

別記第1号様式の4を次のように改める。

別記第1号様式の4 (第5条の3関係)

進学助成金

貸 与 申 請 書

年 月 日

和歌山県教育委員会教育長 様

私は、和歌山県修学奨励金の貸与を受けたいので、和歌山県修学奨励金貸与条例施行規則第5条の3の規定により申請します。

申請者氏名 \_\_\_\_\_ 印

(申請者本人が、自署・押印してください。)

奨学生番号	※ 太線枠内のみ御記入ください。						
学校名	立	大学 短期大学 専修学校 ( 年4月	学部 課程 年制第1学年入学予定 (志望) )	学科 課程	貸与希望額 いずれか一つに○をしてください。 10万円 20万円 30万円 40万円 50万円		
在学学校名	立	高等学校					
※ (県内高等学校・県外高等学校・高認該当者)							
フリガナ				(〒 _____ )			
申請者氏名				住所			
生年月日	年 月 日生			TEL	_____		
連帯保証人氏名 (保護者等) (自署・押印)	(続柄：本人の _____ )			印	(〒 _____ )	住所	
				TEL	_____		
同 一 生 計 の 家 族	続柄	氏名	年齢	*職業・所得の種類	A収入・売上金額(税込)	B控除額(給与所得者)・必要経費(税込)	A-B 所得金額(税込)
					万円	万円	万円
						万円	万円
						万円	万円
						万円	万円
						万円	万円
↑ 主に家計を支えている者、1人に○を付けてください。 同一人で2種類以上の所得のある者は、所得ごとに段を改めて記入してください。 最も所得の多い者の所得金額							① 万円
家 族	申請者を除く	続柄	氏名	※ 設置者	校 種 (学年)	※ 通学別	控 除 額
	就学者			国公立・私立		自宅 ・ 自宅外	万円
				国公立・私立		自宅 ・ 自宅外	万円
				国公立・私立		自宅 ・ 自宅外	万円

(裏面)

所得から差し引かれる金額	申請者の就学者控除	万円
	母子・父子世帯(子が18歳未満(18歳以上の就学者を含む。)であること。ただし、60歳以上で経済力のない祖母のいる世帯を含む。) (一律49万円)	万円
	障害のある人がいる世帯(公害疾病の認定を受けた障害のある人、常に就床を要する要介護の人等のいる世帯) (1人99万円)	万円
	主に生計を支えている者が別居している世帯(別居により生じた住居、光熱、水道、家具及び家事用品の実費を71万円を限度に控除する。)	万円
	長期に療養を要する人のいる世帯(6か月以上療養中の人又は療養を必要とする人のいる世帯)	万円
	火災、風水害、盗難等の被害を受けた世帯(前年から申込時までに被害を受け、今後2年以上にわたり支出の増加又は収入の減少が見込まれる場合における1年当たりの支出増加額又は収入減少額を控除する。)	万円
	② 控 除 額 合 計	万円
③ 認定所得額(①-②)	万円	
④ 収入基準額	万円	

※は、いずれか該当する方を○で囲んでください。

◎進学助成金を必要とする理由

進学助成金の貸与を希望するに至った家庭事情等を記入してください。

上記の申請について、親権者（後见人）として同意します。

(親権者（両親のいずれかがいないときには1人）本人が自署・押印してください。)

親権者氏名 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_ 続柄 \_\_\_\_\_  
 親権者氏名 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_ 続柄 \_\_\_\_\_

(親権者がいない場合に、後见人が自署・押印してください。)

後见人氏名 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_ 続柄 \_\_\_\_\_

上記の者について、和歌山県修学奨励金の貸与申請をすることを認めます。

学校名 \_\_\_\_\_ 学校長氏名 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

別記第1号様式の5を削る。

別記第2号様式中「(単位制)」を「通信制」に改める。

別記第2号様式の3中「(旧日本育英会法)」を削る。

別記第2号様式の4中「貸与を申請し、又は」及び「(旧日本育英会法)」を削り、「大学等」の次に「又は専修学校専門課程」を加える。

別記第3号様式及び別記第4号様式中「(単位制)」を「通信制」に改める。

別記第4号様式の2を次のように改める。

別記第4号様式の2 (第9条関係)

奨学生番号	氏名
-------	----

進学助成金借用証書  
返 還 誓 約 書



和歌山県教育委員会教育長 様

年 月 日

借用金額 円也

私は、和歌山県修学奨励金貸与条例及び関係規程に基づき、和歌山県修学奨励金の進学助成金を借用しました。

つきましては、私及び連帯保証人は、関係規程並びに下記事項を遵守し返還計画のとおり滞りなく返還することを誓約します。

- 1 進学助成金を納期限までに返還しなかったときは、納期限の翌日から納付日までの日数に応じ納付金額に年10.95%の割合を乗じて計算した延滞金を支払います。
- 2 正当な理由なく進学助成金の返還を怠った場合には、返還期限にかかわらず返還未済の金額に対する一括返還の請求を受け、又は強制執行の手続をとられても異議ありません。
- 3 正当な理由なく進学助成金の返還を怠った場合には、私及び連帯保証人の住所、資産等について、和歌山県教育委員会が官公庁や金融機関等に調査を行い、当該調査依頼を受けた者に和歌山県教育委員会に対し調査結果を回答されても異議ありません。

本人	フリガナ		生 年 月 日	性 別
	氏 名	印	年 月 日生	
	現住所	〒 Tel ( ) -		
自署	学校名	立	大学 短期大学 専修学校	学部 課程 学科 課程

私(連帯保証人)は、本人が上記誓約のとおり誠実にその義務を履行するよう指導するとともに、借受債務の返済義務履行について連帯して保証します。

連帯保証人	フリガナ		生 年 月 日	本人との続柄
	氏 名	印	年 月 日生	
	現住所	〒 Tel ( ) -		

本人が未成年者(20歳未満)の場合は、親権者が下記のそれぞれの欄に自署・押印してください。親権者が連帯保証人の場合も、本人が未成年者であれば必ず自署・押印してください。親権者とは、民法に定める親権者のことで、通常は両親(いずれかがいないときは1人)です。後見人がある場合は、後見人が自署・押印してください。

親権者	氏 名	印	生 年 月 日 年 月 日生
	現住所	〒 Tel ( ) -	
後見人	氏 名	印	生 年 月 日 年 月 日生
	現住所	〒 Tel ( ) -	

別記第7号様式を次のように改める。

別記第7号様式 (第11条関係)

住所・氏名等変更届

年 月 日

和歌山県教育委員会教育長 様

奨学生番号	
旧氏名	印
本人住所	(〒 - ) TEL - -

下記のとおり (住所・氏名) 等を変更したので、和歌山県修学奨励金貸与条例施行規則第 11 条第 2 号の規定により届け出ます。

記

本人	新氏名	
	新住所	(〒 - ) TEL - -
高等学校等	旧学校	学校名 立 学校 分校 専攻科 全日制 定時制 通信制 高等部 高等課程 [ ] 科
	新学校	学校名 立 学校 分校 専攻科 全日制 定時制 通信制 高等部 高等課程 [ ] 科
大学等	旧学校	学校名 立 大学 学部 学科 短期大学 課程 専修学校 課程
	新学校	学校名 立 大学 学部 学科 短期大学 課程 専修学校 課程



別記第8号様式中「大学等」の次に「又は専修学校専門課程」を加える。

別記第14号様式を別記第15号様式とし、別記第13号様式を別記第14号様式とし、別記第12号様式を別記第13号様式とし、別記第11号様式の次に次の2様式を加える。



別記第 12 号様式の 2 (第 12 条関係)

<b>コンビニエンスストア専用</b>		<b>修学奨励収納済通知書 和歌山県歳入(税外)</b>	
所 属	年 度	会 計	
奨学生番号	調定年月	区 分	金 額
ただし修学奨励金貸付金元利収入		元 延 滞 金	本 元 延 滞 金
納期限 年 月 日			
上記のとおり収納しましたので通知します。			
奨 学 氏 名	年 月 日		
CVS収納用 (ご注意)バーコードがないものや読み取れないもの、又は金額訂正したものはコンビニエンスストアでは納付できません。			
収納代行 用紙を折ったり、曲げたりしないこと。	コンビニ 取扱期限	領 収 日 付 印	
<b>この納付書はコンビニエンスストア専用のため、 金融機関(ゆうちょ銀行含む。)では納付できません。</b>			
(CVS本部保管)			

<b>修学奨励原符 和歌山県歳入(税外)</b>		会 計	
所 属	年 度	奨 学 氏 名	金 額
奨学生番号	調定年月	区 分	元 延 滞 金
ただし修学奨励金貸付金元利収入		千 百 十 万 千 百 十 円	本 元 延 滞 金
納期限 年 月 日			
上記のとおり収納しました。			
コンビニ 取扱期限	年 月 日	領 収 日 付 印	
(CVS店舗保管)			

<b>修学奨励納入通知書兼領収証書 和歌山県歳入(税外)</b>		会 計	
所 属	年 度	奨 学 氏 名	金 額
奨学生番号	調定年月	区 分	元 延 滞 金
ただし修学奨励金貸付金元利収入		千 百 十 万 千 百 十 円	本 元 延 滞 金
納期限 年 月 日			
上記のとおり納付してください。			
コンビニ 取扱期限	年 月 日	領 収 日 付 印	
(納入者保管) 収入印紙不要			

附 則

この規則は、公布の日から施行する。